

# Tentacle のセキュリティオプション設定

[クイックガイド一覧に戻る](#)

## ドキュメント

- [Tentacle GNU/Linux ユーザガイド](#)
- [Tentacle Windows ガイド](#)
- [Tentacle プロトコル定義](#)
- [OpenSSL 証明書クイックガイド](#)
- **tentacle** での暗号化通信 (このガイド)
- [Linux での Windows クライアントのクロスコンパイル](#)

## Tentacle のセキュリティオプション設定

このガイドでは、安全な暗号化通信を確保するためのエージェントと Tentacle サーバそれぞれの設定方法を段階的に説明します。

まずは、デバイスから手動テストを実行して、設定、パラメータ、証明書が正しいことを確認することをお勧めします。

次に、それに応じた設定ファイルを永続的に設定します。

### Tentacle サーバ

```
/etc/tentacle/tentacle_server.conf.
```

### Unix/Linux ソフトウェアエージェント

```
/etc/pandora/pandora_agent.conf
```

### MS Windows® ソフトウェアエージェント

```
%ProgramFiles%\pandora_agent\pandora_agent.conf
```

### サテライトサーバ

```
/ect/pandora/satellite_server.conf
```

### Tentacle プロキシサーバ

```
/etc/tentacle/tentacle_server.conf.
```

設定変更後は、それぞれのサービスを再起動することを忘れないようにしてください。[Unix/Linux の場合は、/etc/init.d/tentacle\_serverd にある TENTACLE\_EXT\_OPTS オプションを使うこともできます。(その他オプションは、[こちら](#) で確認できます。)

## 通信の暗号化

クライアントと Tentacle サーバ間の通信を暗号化するには SSL 証明書とキーが必要です。このガイドでは、設定可能なすべての構成オプションを示します。証明書は有効な CA による署名が可能ですし、自己署名もできます。

誤解を避けるために、ここでは証明書と各関連する鍵を次のように定義します。

- **ca\_cert**: 証明書の署名に使用された CA の証明書。
- **tentacle\_key**: Tentacle サーバ用に生成された鍵。
- **tentacle\_cert**: Tentacle サーバ用に生成された証明書。
- **tentacle\_client\_key**: Tentacle クライアント用に生成された鍵。
- **tentacle\_client\_cert**: Tentacle クライアント用に生成された証明書。



常にパラメータでは証明書が配置されている絶対パスを示します。例えば、'/etc/ssl/tentaclecert.pem'



Tentacle 暗号化オプションを使用するには、**perl(IO::Socket::SSL)** パッケージがシステムにインストールされていることを確認してください。

## Tentacle サーバが任意のクライアント接続を受け付ける設定

この設定では Tentacle サーバの設定で暗号化に使用する証明書とキーを入力するだけです。

手動でサーバを起動する際に、**-e** および **-k** パラメータを指定します。

```
# su - pandora -s /bin/bash
# tentacle_server -v -e tentacle_cert -k tentacle_key -s /tmp
```

クライアントを手動で起動する際には、**-c** パラメータを指定します。

```
# echo test > file.txt
# tentacle_client -v -c -a 192.168.70.125 file.txt
```

手動実行で正しく動作することが確認できたら、それで動作するように設定を行います。

- Tentacle サーバでは、**/etc/tentacle/tentacle\_server.conf** ファイルを編集します。

```
ssl_cert tentacle_cert
ssl_key tentacle_key
```

- Pandora FMS エージェントでは (OS によって) **/etc/pandora/pandora\_agent.conf** または

**C:\Program Files\pandora\_agent\pandora\_agent.conf** ファイルを編集します。

```
server_opts -c
```

- Pandora FMS サテライトサーバでは、**/ect/pandora/satellite\_server.conf** ファイルを編集します。

```
server_opts -c
```

## Tentacle サーバが特定の CA の署名をされたクライアントの検証をし接続を受け付ける設定

この構成では Tentacle サーバの暗号化設定とクライアントに使用される証明書とキーを指定します。

サーバを手動で起動する際に、**-e** および **-k** パラメータを指定します。

```
# su - pandora -s /bin/bash
# tentacle_server -v -e tentacle_cert -k tentacle_key -s /tmp
```

クライアントを手動で起動する際は、**-e** および **-f** パラメータを指定します。

```
# echo test > file.txt
# tentacle_client -v -e tentacle_client_cert -f ca_cert -a 192.168.70.125
file.txt
```

手動実行で正しく動作することが確認できたら、それで動作するように設定を行います。

- Tentacle サーバでは、**/etc/tentacle/tentacle\_server.conf** ファイルを編集します。

```
ssl_cert tentacle_cert
ssl_key tentacle_key
```

- Pandora FMS エージェントでは (OS によって) **/etc/pandora/pandora\_agent.conf** または **C:\Program Files\pandora\_agent\pandora\_agent.conf** ファイルを編集します。

```
server_opts -e tentacle_client_cert -f ca_cert
```

- Pandora FMS サテライトサーバでは、**/ect/pandora/satellite\_server.conf** ファイルを編集します。

```
server_opts -e tentacle_client_cert -f ca_cert
```

## 特定の CA の署名をされた Tentacle サーバへクライアントが検証し接続する設定

この設定では Tentacle サーバとクライアントの設定で暗号化に使用される証明書とキーを設定します。

サーバを手動で起動する際に、**-e**、**-k**、**-f** パラメータを指定します。

```
# su - pandora -s /bin/bash
# tentacle_server -v -e tentacle_cert -k tentacle_key -f ca_cert -s /tmp
```

クライアントを手動で起動する際は、**-e** および **-k** パラメータを指定します。

```
# echo test > file.txt
# tentacle_client -v -e tentacle_client_cert -k tentacle_client_key -a
192.168.70.125 file.txt
```

手動実行で正しく動作することが確認できたら、それで動作するように設定を行います。

- Tentacle サーバでは、**/etc/tentacle/tentacle\_server.conf** ファイルを編集します。

```
ssl_cert tentacle_cert
ssl_ca ca_cert
ssl_key tentacle_key
```

- Pandora FMS エージェントでは(OS によって) **/etc/pandora/pandora\_agent.conf** または **C:\Program Files\pandora\_agent\pandora\_agent.conf** ファイルを編集します。

```
server_opts -e tentacle_client_cert -k tentacle_client_key
```

- Pandora FMS サテライトサーバでは、**/ect/pandora/satellite\_server.conf** ファイルを編集します。

```
server_opts -e tentacle_client_cert -k tentacle_client_key
```

## Tentacle サーバおよびクライアントの双方が特定の CA の署名を検証する接続設定

この設定ではTentacle サーバとクライアントの双方で暗号化に使用される証明書と鍵を設定します。

サーバを手動で起動する際に、**-e-k-f** パラメータを指定します。

```
# su - pandora -s /bin/bash
# tentacle_server -v -e tentacle_cert -k tentacle_key -f ca_cert -s /tmp
```

クライアントを手動で起動する際は、**-e-k-f** パラメータを指定します。

```
# echo test > file.txt
# tentacle_client -v -e tentacle_client_cert -k tentacle_client_key -f
ca_cert -a 192.168.70.125 file.txt
```

手動実行で正しく動作することが確認できたら、それで動作するように設定を行います。

- Tentacle サーバでは、**/etc/tentacle/tentacle\_server.conf** ファイルを編集します。

```
ssl_cert tentacle_cert
ssl_ca ca_cert
ssl_key tentacle_key
```

- Pandora FMS エージェントでは(OS によって) **/etc/pandora/pandora\_agent.conf** または **C:\Program Files\pandora\_agent\pandora\_agent.conf** ファイルを編集します。

```
server_opts -e tentacle_client_cert -k tentacle_client_key -f ca_cert
```

- Pandora FMS サテライトサーバでは、`/ect/pandora/satellite_server.conf` ファイルを編集します。

```
server_opts -e tentacle_client_cert -k tentacle_client_key -f ca_cert
```

## Tentacle 暗号化設定

Tentacle サーバとソフトウェアエージェントの両方が、証明書とパスワードを介して、直接または Tentacle プロキシを介して安全な通信を使用できます。



常に、証明書の絶対パスをパラメーターに指定します。例えば、`/etc/ssl/tentaclecert.pem` です。



Tentacle 暗号化オプションを使用するには、パッケージ `perl (IO::Socket::SSL)` がシステムにインストールされていることを確認してください。

前の章では、さまざまな組み合わせについて詳しく説明しました。この章では、パスワード[Tentacle プロキシサーバ、オプション設定をするための `TENTACLE_EXT_OPTS` を追加します。前の章での、証明書の名前と両方のキーを確認してください。簡略化された構文は学習目的でのみ使用します。

### パスワードベースの認証によるシンプルな通信

パスワード用のサーバの追加パラメータ:

1. `x password`

パスワード用のクライアントの追加パラメータ(`TENTACLE_EXT_OPTS`):

1. `x password`

### クライアント証明無しの暗号化通信

サーバの追加パラメータ:

1. `e tentacle_cert -k tentacle_key`

### クライアント証明ありの暗号化通信

サーバの追加パラメータ:

1. `e tentacle_cert -k tentacle_key -f ca_cert`

クライアントの追加パラメータ(`TENTACLE_EXT_OPTS`):

1. `e tentacle_client_cert -k tentacle_client_key`

## クライアント証明および追加のパスワード認証での暗号化通信

サーバの追加パラメータ:

1. `x password -e tentacle_cert -k tentacle_key -f ca_cert`

クライアントの追加パラメータ(TENTACLE\_EXT\_OPTS):

1. `x password -e tentacle_client_cert -k tentacle_client_key`

## Tentacle プロキシを使った暗号化設定例

Tentacle プロキシサーバを利用して、安全な通信のためにソフトウェアエージェントと Tentacle サーバの両方を設定する方法を段階的に説明します。前の章で両方の証明書の名前と鍵を確認してください。パラメータに関しては、[こちら](#)を確認してください。

手動テスト:

1. `tentacle_server` を手動起動します:

```
sudo -u user tentacle_server \  
    -x password \  
    -e tentacle_cert \  
    -k tentacle_key \  
    -f ca_cert -s /tmp -v
```

2. プロキシを手動起動します:

```
sudo -u user tentacle_server -b ip_server -g 41124
```

3. `tentacle_client` を手動で起動します:

```
sudo -u user tentacle_client \  
    -a ip_proxy/ip_server \  
    -x password \  
    -e tentaclecert.pem \  
    -k tentaclekey.pem \  
    -v file
```

ファイルが正常に送信されたことを確認したら `tentacle_server` とクライアントの永続的な設定に進みます。

暗号化オプション付きで `tentacle_server` を設定するには、通常 `/etc/init.d/tentacle_serverd` にあるサービス **tentacle\_serverd** の起動スクリプトを編集します。中間点は、プロキシとして機能するように設定する必要があります。Tentacle 暗号化通信を使用するようにソフトウェアエージェントを設定するには、通常は `/etc/pandora/pandora_agent.conf` にある設定ファイル **pandora\_agent.conf** を編集します。

## 永続的な設定

1. SSL つきでサーバを開始します。起動スクリプト `/etc/init.d/tentacle_serverd` を編集します。TENTACLE\_EXT\_OPTS の行を探し、以下を追加します。

1. `x password -e tentacle_cert -k tentacle_key -f ca_cert`

行全体は次のようになります。

```
TENTACLE_EXT_OPTS = "-i.*\conf:conf;.*\md5:md5;.*\zip:collections -x password -e tentacle_cert -k tentacle_key -f ca_cer"
```

2. プロキシを開始します。1. と同様に、プロキシとして動作させるマシンで起動スクリプト `/etc/init.d/tentacle_serverd` を編集します。同様に TENTACLE\_EXT\_OPTS の行を探し、以下を追加します。

1. `b ip_server -g 41121`

行全体は次のようになります。

```
TENTACLE_EXT_OPTS = "-i.*\conf:conf;.*\md5:md5;.*\zip:collections -b 192.168.70.208 -g 41121"
```

3. 対応するオプションをつけてソフトウェアエージェントを開始します。 `pandora_agent.conf` を編集し、 `server_opts` という行を探し、以下を追加します。

1. `x password -e tentacle_client_cert -k tentacle_client_key`

`server_ip` で指定するアドレスは、監視サーバではなくプロキシサーバの IP にすることに注意してください。 `server_opts` の行全体は次のようになります。

```
server_opts -x password -e tentacle_client_cert -k tentacle_client_key
```



パスワードなどの一部のオプションを使用したくない場合は、対応するパラメーターを使用しないでください。

## Tentacle データ圧縮



バージョン NG 725 以上

Tentacle では、コマンドラインのオプション `-z` を使用してデータ圧縮を有効にすると CPU 負荷は上がりますが、転送されるデータのサイズを削減できます。

## Pandora FMS エージェント

`/etc/pandora/pandora_agent.conf` を編集し、 `server_opts` に `-z` を追加します。

```
server_opts -z
```

## サテライトサーバ

/etc/pandora/satellite\_server.conf を編集し、server\_opts に -z を追加します。

```
server_opts -z
```

[Tentacle ドキュメント一覧に戻る](#)

From:  
<https://pandorafms.com/manual/> - **Pandora FMS Documentation**

Permanent link:  
[https://pandorafms.com/manual/ja/quickguides/secure\\_communication\\_with\\_tentacle](https://pandorafms.com/manual/ja/quickguides/secure_communication_with_tentacle)

Last update: **2021/11/05 12:05**

